



毎年

あなたも

100ドルを

ロータリー財団ニュースレター

2007年8月

人々の希望をかなえるポール・ハリス・ソサエティ



Monika Lozinska-Lee/Rotary Images

ポール・ハリス・ソサエティの成功への寄与を称えられ、ルイス・ジアイ財団管理委員長から賞を受け取るウェイン・キュージック氏(左)

安全な飲み水を提供し、ポリオ・ワクチンを投与し、読み書き指導を行う……。1人のロータリアンがロータリー財団に米貨1,000ドルの寄付を行うことによって、地域社会の生活の質を大きく向上させることができます。米貨1,000ド

ルの寄付が毎年行われたなら、どのようなことが達成できるかを想像してみてください。

ポール・ハリス・ソサエティの会員となった4,300名を超えるロータリアンは、この成果を実感してきました。

ポール・ハリス・ソサエティとは、毎年、ロータリー財団に対して多大な支援を行うことを表明したロータリアンを認証するための、地区単位(日本の場合は国単位)で運営される特別な認証プログラムです。ポール・ハリス・ソサエティは、年次プログラム基金、ポリオ・プラス・パートナー、人道的補助金プログラムに、毎年米貨1,000ドル以上を寄付して下さるロータリアンやロータリー財団支援者を認証します。この寄付は、「財団の友」会員、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、大口寄付者認証の対象となります。

ポール・ハリス・ソサエティは、1998年、第5340地区(米国カリフォルニア州)で、元地区ガバナー、ウェインC. キュージック氏によって創設されました。このアイデアは、すぐに他の

地区に広まり、2006年7月1日をもって財団の公式プログラムとなりました。現在、532地区のうち176地区にポール・ハリス・ソサエティが存在し、合計で4,300名以上の会員がいます。

米国ユタ州ソルトレークシティで開催された2007年RI国際大会で、ルイス・ジアイ財団管理委員長は、財団を支援する優れた方法としてポール・ハリス・ソサエティを創設し、推進したキュージック氏の役割を称え、同氏に特別賞を授与しました。

「(私は)単に年次寄付額を増やす方法を考えていたに過ぎません」と、この名誉に驚き、喜ぶキュージック氏は述べました。「当時、これが良いアイデアではないかと思ったのです。10年後にこのようなことになるとは夢にも思いませんでした」

皆さまもポール・ハリス・ソサエティの会員となり、特別な形で世界中に希望を与えることができるよう、ぜひともご協力をお願いいたします。詳細は、RI日本事務局財団室にお問い合わせください。

ゾーンのチームを効果的に活用する

地区の年次プログラム基金目標に到達することは困難な課題と思えるかもしれません。ここで思い出していただきたいのは、ゾーンのロータリー財団チームが皆さまをお手伝いできるということです。財団のゾーンのチームの主要なメンバーには以下の方々があります。

- ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)：財団プログラムと募金活動を推進し、ロータリアンとRI事務局間の重要なパイプ役となります。コーディネーターは、ゾーン指導者と地区指導者の研修を行い、募金の目標額を設定、到達するのを助けます。

- 年次寄付アドバイザー：1人当たり米貨100ドルという世界目標に到達するため、「毎年あなたも100ドルを」のメッセージを広め、年次プログラム基金への寄付を推進します。また、クラブと地区が年次プログラム基金目標を設定し、到達に向けて活動するにあたり、ロータリー財団地域コーディネーター、地区指導者、財団職員間のパイプ役を務めます。
- 大口寄付アドバイザー：各地域において、財団への米貨10,000ドル以上の寄付の懇請活動を促進し、支援します。大口寄付募金において、ロータリー財団地域コーディネーターに報告を行い、地区指導者と財団職員間のパイプ役となります。

- 財団学友コーディネーター：ロータリー・クラブと地区が、財団学友をロータリーにとって不可欠な存在とみなすよう奨励、支援します。

ゾーンの財団チームのメンバーを地区ロータリー財団セミナー、会長エレクト研修セミナー、ガバナー・エレクト研修セミナー、大口寄付者夕食会、その他の表彰・認証行事などに招待しゾーンチームの協力を得ましょう。担当のチームメンバーが誰かを調べるには、「Official Directory (公式名簿)」をご参照ください。

寄付進み前線

2006・07年度年次プログラム基金寄付中間集計

1,025万ドル

4月

5月

6月

7月

8月

9月

フィリピンのロータリアンが年次寄付を2倍に



ロータリー財団の年次プログラム基金への大口寄付をジェーム・ディー第3800地区ガバナーに贈るフィリピン、パシグ・ロータリー・クラブのラフィ・ガルシア2006-07年度クラブ会長（中央）。ガルシア氏は、この支援を称えられ、財団大口寄付者として表彰されました。左はRI会長代理で元理事のM. K. パンドゥランガ・セッティ氏。

どうすれば、地区のロータリー財団への寄付額を1人当たり米貨47ドルから1年で米貨100ドルまで引き上げることができるでしょうか。

第3800地区（フィリピン）にとって、成功の秘訣は、地区年次寄付小委員会委員長の構想の下、創造力、自発性、チームワークが一体となって発揮されたことでした。「（私は）職業柄、マーケティングに携わっているため、「毎年あなたも100ドルを」という良質の『製品』があり、『市場』も目の前にあることがわかっていました。その『市場』とは、第3800地区の熱意あるロータリアンたちです」と、マニー・レイエス年次寄付委員長は言います。

同地区の2006-07年度年次寄付目標額は、1人当たり100ドルの寄付という計算に基づき、米貨172,800ドルでした。レイエス地区年次寄付委員長は、年次寄付推進計画を開始する前からすでに、地区ガバナーと地区国際奉仕委員長に寄付を求め、地区ガバナーは、米貨2,000ドルと約束しました（この金額は、それまでの寄付と合計すると、大口寄付の認証の対象となりました）。国際奉仕委員長は、仲間のクラブ会員10名からそれぞれ米貨1,000ドルの小切手を持ってきました。レイエス年次寄付委員長自身も、米貨1,000ドルの寄付を約束しました。

その後、レイエス氏は、地区のオークション募金活動とともに年次寄付活動を開始し、この募金活動では米貨42,000ドルの純益を上げました。翌月、同氏は、地区中のクラブを訪問し、各クラブから財団への寄付を受け取ることができました。新たに設立された地区のポール・ハリス・ソサエティの会員からは、米貨24,000ドルの寄付が寄せられました。その後も大口寄付者からの寄付が行われ、地区は目標額に達することができました。

地区内79のクラブすべてが目標達成に貢献しました。「これにより、第3800地区は会員全員、100パーセントが財団に寄付を行ったことになります。これは史上初のことです」とレイエス氏。「また、初めてといえば、この地区は財団に対して、1人当たり米貨100ドルの寄付を初めて達成することができたことに加え、国内10ロータリー地区の中で最高額の寄付という記録も初めて残しました」

毎年 あなたも 100ドルを

「毎年あなたも100ドルを」推進計画の詳細をお求めの方、あるいは成果を挙げた募金プロジェクトやチャレンジ寄付の事例を紹介して下さる方は、以下までご連絡ください。

電話：1-847-866-3352

ファックス：1-847-328-5260

Eメール：erey@rotary.org

ウェブサイト：www.rotary.org

2007-08年度のロータリー財団の目標

- ・ ポリオ撲滅：現実的な目標
- ・ 毎年あなたも100ドルを：果たすべき約束
- ・ 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター：平和の願いはきっとかなう
- ・ ロータリー財団学友と再びつながりを築く：忘れられた資産

財団のために775キロを3日間で単独制覇

775キロという距離を1年もしくは1カ月をかけて走ったり、自転車に乗ったり、泳いだとしても、到底スポーツ欄の見出しになることはありません。しかし、この距離を3日間で制覇するとなれば、話は別です。この距離がトライアスロン（通称アイアンマン）を連続3回以上こなすことに等しいことを思えば、これは想像をはるかに超える偉業です。

ジェフ・グリデンさんは、究極の長距離トライアスロン・チャレンジを通じて、まさにこれを成し遂げました。この挑戦で、米貨100,000ドルの資金を集め、2007年6月時点のロータリー財団年次プログラム基金への資金として算入されました。

米国ワシントン州、スポーケン・バレー（オパチュニティ）ロータリー・クラブの会員であるグリデンさんは、5月31日、カナダのブリティッシュコロンビア州、ゴールデンを出発しました。6月2日、米国ワシントン州、ケネウィックのゴールにたどり着いたときには、144.2キロを走り、

618.3キロを自転車で走り、13.2キロを泳ぎ、しかも第5080地区年次大会にちょうど間に合うタイミングでした。

「これまでで一番やりがいがありました」と、グリデンさん。「これまでに寄付を行ったことがない多くのロータリアンが寄付を贈ってくださいました。これは、まさに自分の目標の一つでした」

また、後援企業は、それぞれ少なくとも米貨1,000ドルの寄付を行うことによって、グリデンさんの想像を絶するトライアスロンへの挑戦を支援しました。この挑戦によって得られた収益はすべてロータリー財団に贈られました。グリデンさんの並外れた偉業の詳細は、www.rotarytrichallenge.comでお読みください。

ロータリー財団の年次プログラム基金が目標の米貨1億ドルを突破するため、グリデンさんのように多大なる努力を捧げてくださるすべての熱意あるロータリアンの皆さまに心より感謝を申し上げます。

2007-08年度 年次プログラム基金の目標

管理委員会は、6月の会合にて、2007-08年度年次プログラム基金の目標を米貨1億2千万ドルと決めました。この目標は、世界120万人以上のロータリアンから1人当たり米貨100ドルを集めるという「毎年あなたも100ドルを」の活動を通じた財団の引き続きの熱意を反映したものです。